

ア

悪臭 P.6
食欲不振や頭痛の原因になるなど、人の健康や生活をするうえで問題となる。人によって感じ方が異なるため、感覚公害とよばれています。

一般廃棄物 P.4
家庭から出るごみ、会社から出る紙ごみなど。燃えるごみ、燃えないごみ、家電製品などの粗大ごみなどに分けられます。

エコタウン事業 P.16
工場や農場から出るごみを、他の産業の原料として使うなど何かに活用し、ごみを出さないようにしよう(ゼロ・エミッション)という取り組み。地方公共団体が推進し、愛媛県では「えひめエコランド構想」がスタートしています。

えひめ環境家計簿 P.18
家庭で消費する電気やガス、灯油、ガソリンなどの使用量を記入して、各家庭の二酸化炭素排出量を計算できる家計簿。愛媛県で作成しています。

愛媛県環境基本条例 P.6
愛媛の豊かな自然環境を守り、環境にやさしい社会を築いていくために、県民、事業者、行政が環境保全施策の総合的、計画的な推進を協力して取り組むことを定めた条例。平成8年に公布施行しました。

愛媛県地域新エネルギービジョン P.12
限りある化石エネルギーにかわる新しいエネルギーを導入することを目指して作成されたもの。電力の分野では太陽光や風力発電などが進められています。

愛媛県地球温暖化防止指針 P.10-12
地球温暖化を防ぐために、県民、事業者、行政が協力し、温室効果ガスの削減目標やそれぞれの役割と行動などを決めた方針。

財団法人愛媛の森林基金 P.8
愛媛県の森林を守り育てることを目的に、昭和61年に成立された公益法人。森林の活用への助成や緑の募金事業などを行っており、平成14年度からは放置森林の整備も行っています。

オゾン層 P.10
地球をとりまき、太陽の光にふくまれる有害な紫外線の大部分を吸収し、私たちを守ってくれています。

温室効果ガス P.10
大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどのことで、太陽からの熱を地球に封じ込め、地表をあたためる働きをするもの。

化学物質 P.6
本来は合成または調整された物質のことですが、環境問題を考える際には何らかの化学変化によって生まれた物質を指します。日常使っているプラスチック容器や化粧品、殺虫剤、医薬品などの多くは化学物質からできています。

化石燃料 P.4
石油・石炭・天然ガスなどが化石燃料といわれており、古代生物の死骸が地中で長い時間をかけて変化してできたものと考えられています。

河川里親制度 P.21
身近な川から美化を図るために、河川の一区間の「里親」となって川を守るために清掃活動などを行います。

環境基準 P.5
大気汚染・水質汚濁・土壌汚染、騒音などから人の健康や生活環境を守るうえで、維持されることが望ましい基準を定めたもの。

環境ホルモン P.6
その働きや健康への影響について科学的にまだわかっていない点が多く、人の体内に取り込まれた場合に人の健康や生態系に、世代を越えた影響をおよぼす危険性のある化学物質のこと。

環境マイスター派遣制度 P.19
自発的に環境保全活動や環境学習などを行う人々を応援する制度。地域のグループや町内会、PTAなどで学習会などを開く場合に、環境分野の専門家の環境マイスターを講師として迎えることができます。

京都議定書 P.12
地球温暖化防止のための国際会議で温室効果ガスの削減目標などを取り決めた国際協定のこと。1997年、京都で採択されたので、その名が付いています。

クリーン愛媛運動 P.21
すみやすい快適な生活環境を守るために、川、海岸、道路、公園などの公共の場の美化活動に県民が取り組む運動のこと。

こどもエコクラブ P.21
自分たちが暮らしている地域の中で、地球環境を守る様々な活動に自主的に取り組む小・中学生のグループ。

コンポスト P.14
生ごみや落ち葉などを、堆肥として生まれ変わらせるゴミ箱のような容器。

産業廃棄物 P.4
工場や事業所から出るいらなくなった物のこと。廃棄物処理法という法律で19種類の処理や処分の方が決められています。その約8割は汚れた土、動物の糞尿、建設現場から出たごみが占めています。

酸性雨 P.10
工場や車からでた大気汚染物質が大気中で雨や霧にとりこまれ、強い酸性となった雨。

紫外線 P.10
太陽から放射される電磁波の一種。太陽の光をプリズムなどで赤から紫にまで分けたときに、紫色の外がわにある目に見えない、短い波長の光線。紫外線は波長により、人間の皮膚を老化さ

せたり、免疫力を低下させたり、皮膚がんや白内障の原因になったりします。

資源循環優良モデル認定制度 P.16
すぐれたリサイクル製品や、ごみを減らすこと、ごみを資源として活用する方法に積極的に取り組み、効果をあげている会社やお店を認定する愛媛県の制度。

自浄能力 P.20
川などの水が汚れた時、その原因となる物質を川に住む微生物などが分解するなどして、汚れた水をきれいにする働き。

循環型社会 P.16
大量生産や大量消費、すてる社会にかわって、物の再生利用や再資源化を進め、資源のむだづかいをやめたり、ごみを減らしたりすることを目指す社会。

森林ボランティア P.21
自主的に森を守るために森林づくりに参加し、行動する市民または市民グループのメンバーのこと。

水質汚濁 P.6
工場や家庭などから出る汚れた水によって、川や海の水質が悪くなったり水底の土砂が汚れる現象。

生活排水 P.6
私たちが普段の生活をする時に出す汚れた水のこと。炊事、洗濯、入浴、洗面、トイレなどによる排水。

赤外線 P.11
太陽から放射される電磁波の一種。太陽の光をプリズムなどで赤から紫にまで分けたときに、赤色の外がわにある目に見えない、長い波長の光線。熱作用が大きいので熱線ともいい、病気を治したり、写真をとるときなどにも使われます。

ゼロ・エミッション P.19
様々な活動の中で発生したごみやエネルギーを上手に活用し、むだのないようにする取り組み。